



議会だより

今回の定例会

3月

6月

9月

12月



主な内容＊ 令和7年9月定例会

P2～ 令和7年度補正予算

P4 市民アカデミー 模擬議会を体験

P5～ 1年間の歳入・歳出をチェック
令和6年度決算審査特別委員会報告

P8～ まちづくりを問う（一般質問）

P20 定例会の議案と審議結果一覧

P22～ 印西市議会基本条例が制定されました

P24 市民の声（印旛明誠高校1年 内山さん）

9月 定例会

9月定例会は、8月29日から9月29日までの32日間、開催されました。

市長提出案件は、議案9件、認定6件、同意3件、諮問2件、報告2件で、議会提出案件として議員の発議案が1件、委員会の発委案が3件、その他に請願2件についてそれぞれ慎重な審議が行われました。

審議結果は20ページに掲載しています。

令和7年度補正予算〈予算審査常任委員会〉

9月16日に委員10人出席のもと審査を行い、すべての議案が全会一致で原案通り可決されました。主な内容を次ページで紹介していきます。

【議案第4号】令和7年度印西市一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算の補正

補正前の額	補正額	補正後の額
558億9,219万6千円	1億9,439万9千円	560億8,659万5千円

【議案第5号】令和7年度印西市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の補正

補正前の額	補正額	補正後の額
95億8,595万1千円	—（※）	95億8,595万1千円

※国庫補助金の交付による財源の補正

【議案第6号】令和7年度印西市介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の補正

補正前の額	補正額	補正後の額
67億7,244万9千円	2億3,424万円	70億668万9千円

【議案第7号】令和7年度印西市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の補正

補正前の額	補正額	補正後の額
12億9,119万1千円	22万円	12億9,141万1千円

令和7年度補正予算



6つのトピックで見る補正予算！

01

広報いんざい編集・印刷業務委託

9,919万7千円以内

債務負担行為（R7～10年度）

**広報いんざい
10月より全戸配布スタート！**

「広報いんざい」は、令和7～10年度にかけてひと月あたり5万部、24～32ページ、年間60万部を発行予定です。

事業費は令和8・9年度が各4,105万7千円、令和10年度は1,708万3千円（5ヶ月分）と見込まれています。



02

ふれあいバス運行事業

2,526万6千円**ふれあいバス新ルート運行へ**

牧の原循環ルート新設と、既存ルート増便により、運行車両を2台増加します。
便数は58便から74便へ16便の増となります。



03

防犯対策に要する経費

1,265万円**歩道照明・防犯灯の修繕費**

市内全域での歩道照明及び防犯灯修繕費に1,265万円を計上。

8月末時点で309件を修繕済み。近年の異常気象により今後さらに800件の修繕を見込んでいます。



04

学童クラブ施設整備事業

1,998万6千円**学童クラブ定員を拡大**

令和8年4月開所に向け、高花小学校・原小学校に各70名分の定員増を行います。
これにより定員は高花150名、原270名となり、原学童クラブの待機児童18名が解消される見込みです。



05

交通安全対策施設整備事業

6,160万円**安心して歩けるまちへ
安全対策の強化**

千葉ニュータウン中央駅・印西牧の原駅周辺で、横断防止柵約570mを設置。

さらに、山田・平賀地区を中心に、歩道沿いの雑草対策として防草コンクリート約900mを施工します。



06

印西市外国語指導助手派遣業務委託

3億5万1千円以内

債務負担行為（R7～10年度）

英語教育を支えるALTを各校へ派遣

市内小学校18校、中学校9校、幼稚園1園にALT（外国語指導助手）を配置し、また13人から19人に増員します。令和7年度にプロポーザルで契約し、令和8～10年度に事業を実施します。



議会の仕組みを学ぶ

印西市民アカデミー 模擬議会を体験



8月1日、市民アカデミー講座として模擬議会が開催されました。

まず初めに、議会事務局職員が講師となり「市議会の役割・権限・組織」など議会の仕組みについての説明がありました。

その後、模擬議会の流れについて議会事務局長及び職員から説明がありました。アカデミー生は、議員役と市長役・教育長役・部長役となり、市議会で行われた実際の質問と答弁をしました。議場での体験により、議会を身近に感じていただけたのではないのでしょうか。

議会だより編集委員との懇談会



模擬議会終了後、議会だより編集委員との懇談会を開催しました。懇談会では議会だより編集委員からアカデミー生へ質問する形式で進行されました。

問 議長を務めた感想はいかがでしたか？

答 緊張すると思いましたが、心地よい議長席で緊張しませんでした。

問 市民アカデミー参加のきっかけは？

答 印西に30年住んでいます。去年のプログラムを見て興味を持ち、参加しました。

印西市民アカデミーとは

市民の生涯にわたる学習を支援し、学びあいによる仲間づくりを進め、学習成果を生かし、まちづくりに生きがいを持って取り組むことのできる人材を育成することを目的としています。

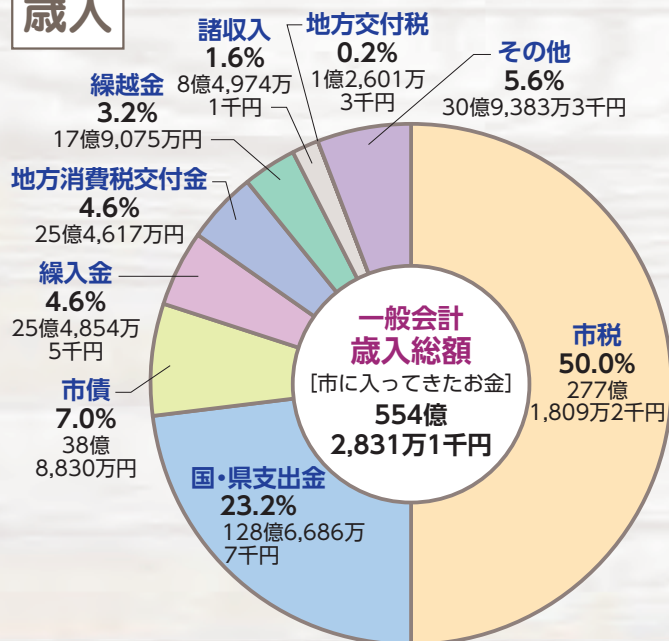
活動の様子はこちら



1年間の歳入・歳出を 市民の目線でチェック

令和6年度決算審査特別委員会報告

歳入



第3回定例会（9月議会）では、委員9人からなる「決算審査特別委員会」が設置され、市の令和6年度一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の各決算を4日間にわたり慎重に審査しました。審査の結果、6会計全てが「認定」と決定されました。ここでは決算の概要と、審査の中で行われた主な質疑応答についてお知らせします。

令和6年度決算の概要

令和6年度一般会計の決算規模は、歳入総額554億2,831万1千円、歳出総額511億6,504万7千円となり、前年度と比較して、歳入で4.8%の増、歳出で3.5%の増となりました。

この歳入はどう使われたの？

次ページ、歳出へ！

議会の
決算審査
ってなに？

～市の家計簿をチェックする大切な仕事～

みなさんから預かった税金などが、1年間でどう使われたのか。市の1年の家計簿をまとめて点検するのが「決算審査」です。

- 監査委員は、「きちんとルール通りに使われたか」を確認します。
- 議会では「市民の暮らしに役立ったか」「無駄遣いはなかったか」などを市民の目線でチェックします。

つまり、議会の決算審査は「市の家計簿を、みなさんの立場から点検する」大事な仕事なんです。

決算収支



会計名		歳入額	歳出額
一般会計		554億2831万1千円	511億6504万7千円
国民健康保険特別会計		94億9638万7千円	94億8512万1千円
介護保険特別会計		66億6854万9千円	64億3596万3千円
後期高齢者医療特別会計		13億1269万7千円	12億9013万3千円
水道事業会計	(収益的収支)	6億3544万8千円	5億8423万4千円
	(資本的収支)	2億2725万円	3億2061万6千円
下水道事業会計	(収益的収支)	31億2945万7千円	30億309万1千円
	(資本的収支)	1億8222万5千円	3億5672万4千円

令和6年度決算審査 主な質疑

市行政の全事業にわたり多くの質疑が行われました。
そのうちの一部について要約してご紹介します。

一般会計

経常収支比率大丈夫か

問 財政硬直度を示す経常収支比率が令和5年度79・5%であったのに対し、令和6年度決算では84・8%と大きく上がっている理由は何か。

答 令和5年度は税収が一時的にかなり多く入ったことで通常の値より低くなっ

た。令和6年度決算の数値が通常に近い値である。今後90%以内を維持できるよう努めたい。

都市計画GISを修正

問 都市計画GIS整備事業について、基本図の修正5280万円とあるが、主な修正内容は何か。



市民も使える都市計画GIS

答 都市計画GISは地図とデータを組み合わせて活用するシステム。令和8年度の県の都市計画基礎調査に合わせて、令和6年度、修正業務を一括で行った。

二次救急医療に補助

問 地域医療推進事業の決算額4500万円の内訳は。

答 二次救急医療の病院群輪番制方式と小児二次救急医療病院群輪番制方式のう

ち、1事業について1500万円の補助をしている。日本医科大学千葉北総病院が小児と成人の2事業、印西総合病院が成人の1事業である。

キャッシュレス決済は進展したか

問 キャッシュレス決済利用件数は、目標値8千件に対し、実績値約2万2千件となっているが、目標値が低いのではないか。

答 キャッシュレス決済の需要が予想以上に進展したこと、またキャッシュレス端末を増設し、実績値が伸びたと考えている。令和6年度の利用率は21・9%であった。



キャッシュレス端末を増設

公共交通網の整備とタクシー利用助成は

問 公共交通網整備促進事業の決算額約1億4800



ふれあいバスは乗り継ぎを改善

万円の内容とタクシー利用助成事業の成果は。

答 ふれあいバス運行に要する委託費約1億4500万円、その他タクシー利用助成事業の費用等である。タクシー利用助成は、地域の生活を支える公共交通として一定の効果が得られていると評価し、令和7年6月から市内市街化調整区域に拡大している。

集会所の新設・修繕補助見直しも検討

問 集会所の新設、改築、修繕に関する補助が令和6年度6件あるが、内訳は。市内約200町内会のうち補助事業6件ということについて課題意識はあるか。

答 新設は1件で滝野1・2丁目自治会集会所の新設工事。残り5件は修繕工

事で、当初は7件あったが、金銭的な理由もあり2件は取り止めており、補助金の見直し等について課題意識を持って検討している。

民間プール活用とプール開放の成果は

問 市内民間プールを活用したプール開放事業の、令和6年度の事業実績は。

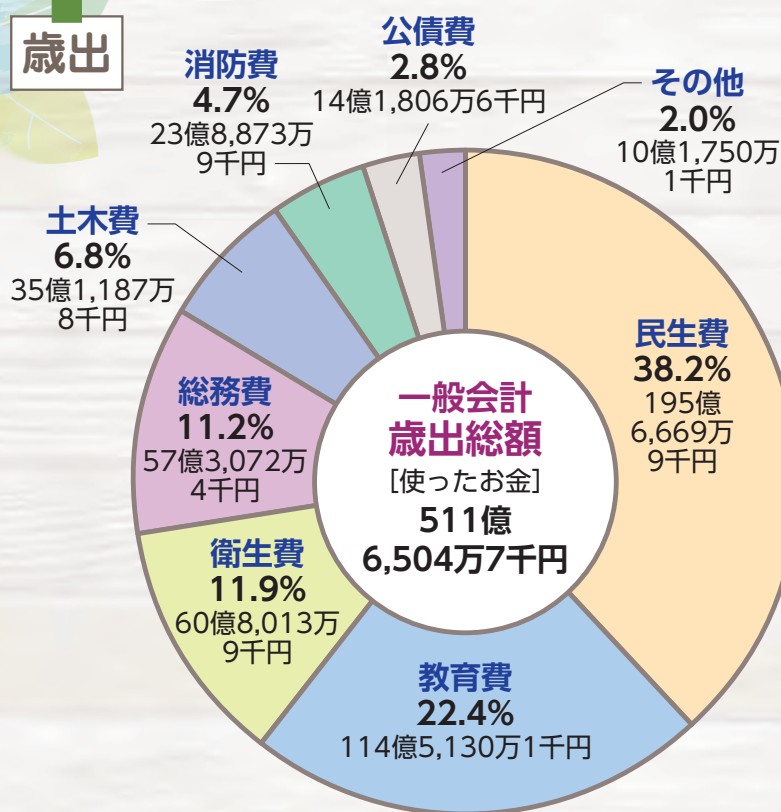
答 市内3施設のプール事業者に協力をいただき、令和6年7月20日から令和7年3月末までの約8か月間実施した。対象の小・中学生1人につき3回分の無料券を配布し、令和6年度は延べ2752人の利用があった。

学童クラブの施設整備待機児童は減少したか

問 学童クラブの施設整備事業は、新設、改修で4か所とあるが、内訳は。またこれにより待機児童の状況はどうなったか。

答 高花、いには野、木刈の各小学校で増床工事を行った。また民間学童の新設が1件あった。これらにより、待機児童は104名か

歳出



ら令和7年5月1日時点で76名と減少している。

原山小・大森小学校舎 本塾小体育館を改修

問 小学校施設整備改修工事、決算額約5億45万5千円の内訳を伺う。

答 大規模改修・保全改修工事の設計、監理のほか、原山小学校保全改修工事、大森小学校大規模改修工



きれいになった体育館（本塾小）

事、本塾小学校屋内運動場保全改修工事などを実施した。

特別会計

介護老人福祉施設の待機者はどうか

問 介護老人福祉施設の待機者の介護度別人数はどうであったか。

答 要介護1が5人、要介護2が4人、要介護3が39人、要介護4が35人、要介護5が20人の合計103人である。入所の要件は要介護3以上であるが、認知症や独居などで、要介護1及び2の方が特例入所待機している状況である。

上・下水道事業会計

マンホールトイレ整備は

問 マンホールトイレは地震対策として、令和6年度、小林中学校と高花小学校に設置されたとのことだが、あとどこが未設置か。

答 令和6年度末で残って



小林中マンホールトイレ（左）災害時には組立式トイレを設置

下水道管の耐用調査は実施したか

問 下水道の管路について法定耐用年数は50年ということだが、直近で50年を迎えそうな管はどれくらいあるか。管路調査は令和6年度に全域を行ったのか。

答 下水道管渠で40年を超える管渠は約80kmある。市内でかなり延長があるため、計画的に優先箇所順位づけをして、年間約10kmの調査を実施している。

市と市民の
福祉向上に向け
ていねいに
審査を行いました



決算審査特別委員会

委員長	松尾	榮子
副委員長	松谷	知美
委員	津田	憲吾
〃	稲葉	健
〃	小川	利彦
〃	米井	重行
〃	岩崎	成子
〃	金丸	和史
〃	山田	喜代子

まちづくりを問う



一般質問

議員は、市民の代表として印西市の市政全般について幅広く質問することができます。これに対し市は、今後の事業計画や現状を説明し、議論を深めていきます。

一般質問は、市民の声を市政に届け、より良い印西市を作るためにとても重要です。

令和7年第3回定例会では、9月1日から9月5日に会派代表質問および個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここではその一部を掲載いたします。

この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

会派代表質問

公明党（藤江 研一）	P9
至誠（大崎 亜希）	P9
創進（小川 利彦）	P10
新政（津田 憲吾）	P10
T O B E（稲葉 健）	P11

個人質問

1. 海老原作一	P12	7. 加藤 亮二	P15
2. 松谷 知美	P12	8. 林 勝利	P15
3. 都築真理子	P13	9. 松尾 榮子	P16
4. 山田喜代子	P13	10. 板橋 睦	P16
5. 鈴木 博美	P14	11. 軍司 俊紀	P17
6. 増田 葉子	P14	12. 大野 忠寄	P17



録画中継はこちらから



いんざい議会だより

令和7年（2025年）11月 No.214

問 船穂小登校用バス運行の見直しは

答 登校時間に合わせた見直しをした

「公明党」藤江 研一 議員



質問1 船穂小学校登校時間

に合わせたふれあいバスの運行ルート・ダイヤ見直しは。

市長 最寄りバス停の船尾コミュニティセンターの発着時刻は登校時間に合わせた運行に、ダイヤ改正を予定している。

再質問 具体的な運行ルートと便数は。

企画財政部長

南ルートを利用し、千葉ニュータウン中央駅北口発および印西牧の原駅南口発の2便を登校時間に合わせた運行ダイヤに見直した。

質問2 スフィア基準を踏まえた避難所環境改善は。



船穂小登校時間を考慮したダイヤ改正が予定されるふれあいバス

市長 重要課題と認識している。段ボールベッドや簡易・携帯トイレの整備、避難所の生活環境改善に努めたい。

質問3 マイナ保険証を活用

して救急業務円滑化を図るマイナ救急が10月1日から全国で始まった。救急隊が持つカードリーダーで傷病者のマイナ保険証を読み込み、受診医療機関や既往症、薬剤情報などを把握するもので、円滑な搬送先選定や適切な応急処置につなげられる。印西地区消防組合と連携し、市民への制度周知やマイナカード保有、健康保険証登録推進を図れないか。

市長 マイナ救急は、医療サービスを迅速かつ効果的に提供する仕組みとして、大変有効と認識している。市としても、印西地区消防組合と連携し、周知を図りたい。

問 税収安定のための新たな構想とは

答 成田空港の機能強化で財源確保へ

「至誠」大崎 亜希 議員



質問1 本市の基金の現状について伺う。

市長 令和6年度末で約212億7千万円となり、令和5年度末と比較すると約10億円、4.9%の増となっている。

再質問 本市の財政調整基金の「安定的な水準」は、どの程度を想定しているのか伺う。

企画財政部長 本市は、標準財政規模の20%程度を確保することとしている。令和6年度は発災時等への備えも踏まえ60億円が必要と考えている。

再質問 税収を安定させるた



2029年の機能強化に向け、協議が進められている成田空港

めの新しい収入源についての構想を伺う。

市長 2029年の「成田空港の機能強化」を的確に捉え、人口増加に向けた居住確保や新たな産業の誘致等、未来に向け、魅力あるまちづくりを進めていくことが、自主財源の確保と安定的な収入に繋がっていくものと考えている。

質問2 全天候型遊び場の現在の進捗状況について伺う。

市長 令和7年6月30日にイオンモール株式会社と締結した包括連携協定に基づき、イオンモール内に整備する予定であり、調整を進めている。

再質問 対象年齢は。

健康子ども部長 0歳から12歳を利用対象として想定。

再質問 今後の整備計画は。

市長 令和9年3月下旬のオープンを目指して、整備を進めていく。

問 竜腹寺線交差点信号機の協議は

答 設置の指針に基づき協議中

「創進」小川 利彦議員



質問1 市道竜腹寺線の整備状況はどうか。

都市建設部長 計画延長1045メートルのうち、橋梁部分が未整備となっており、交差点は暫定整備となっている。橋梁詳細設計、工事用道路詳細設計を行い、工事を進める。交差点部分は、信号機の設置要望を伴う交差点改良について、千葉県公安委員会および千葉県印旛土木事務所と協議を進めている。

再質問 どのような問題があり、協議の結論が出ないのか。

答弁 信号機の設置は、警察



信号機設置が望まれる交差点

庁からの通達による「信号機設置の指針」に基づいて行われるものであり、指針による信号機設置の条件を満たす必要がある。過去の交通事故の状況や現況の交通量を考慮した協議を進めている。

質問2 イノシシ生息域拡大についての認識は。

環境経済部長 イノシシについては、これまで被害や目撃情報のなかった下井・長門屋地区など新たな地域でも目撃されており、生息域は拡大傾向にあると認識している。

再質問 近隣市町との連携駆除は考えているか。

答弁 印西市近隣地域における、イノシシによる農業被害や出沒事案は発生している。行政界付近は、捕獲の手も届きにくいことから、近隣市町と連携を図れるよう検討していきたいと考えている。

問 学校給食の地産地消の促進は

答 印西市産食材を使用するよう検討

「新政」津田 憲吾議員



質問1 学校給食における市内農産物の利用状況について伺う。

教育長 令和6年度の使用量は約149トン、使用率は約39%であった。

再質問 過去5年の使用率はどうか。

教育部長 令和2年度は49%、令和3年度は47%、令和4年度は44・8%、令和5年度は38・2%であった。

再質問 印西市産の使用率が減った分、どこ産のものが増えているのか。

答弁 印西市産の使用率が減



印西市内の学校給食献立

った一方で、千葉県産の使用率が増えている状況である。令和2年度は19・5%、令和3年度は20・8%、令和4年度は22・1%、令和5年度は28・3%、令和6年度は27・9%であった。

質問2 地産地消の促進についてはどうか。

教育長 学校給食に使用する米は、全て印西市産を使用しており、野菜や果物は、印西市産のものをできるだけ使用するよう努めている。

質問3 物価高騰を背景に子どもたちの学校給食の栄養バランスが心配だが、学校給食はどのような基準で作られているのか伺う。

教育部長 学校給食法において、一人あたりの学校給食摂取基準が定められており、栄養バランスの整った献立を作り、提供している。

問 藤代市政1年目の成果は

答 未来を見据え様々な施策を推進

「TO BE」稲葉 健議員



質問1 市政運営をどのように総括しているか。

市長 就任から約1年経過したがこの間、市の未来を見据え様々な施策を推進してきた。

質問2 副市長2人体制に対し、担当分野が多岐にわたる課題を行政組織の横断的な連携や情報共有を進めて行くことを望むが市の考えを伺う。

市長 2人の副市長が連携を密に行い、多岐にわたる行政課題に対し、分野横断的に対応することが制度の核となる。



藤代市政、2年目を迎えた印西市役所

3役や経営陣の会議等を有効に活用しながら本制度が円滑に機能するよう力を注ぐ。

質問3 政策アドバイザー制度を導入した目的とは。

市長 専門的な技術、経験等を有する外部人材を活用し、より効果的な行政運営を図る。

質問4 財政運営と持続可能な街づくりの方向性について伺う。

市長 本市においては、歳入の柱となる市税収入は、人口増加や企業の進出等により増加傾向にある。近年の大規模事業による施設整備、改修の費用は、世代間負担の公平性の観点から市債を発行し公共施設整備基金の繰り入れをして財源を確保している。今後の財源確保の考え方は、持続可能な行財政運営を念頭に置いて、健全で安定的な財政運営を推進して行く。

請 願

第7-2号

▼「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

〈採 択〉

第7-3号

▼「国における2026年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

〈採 択〉

市議会は、請願の採択後、国への意見書を提出する案を可決しました。

陳 情

第7-5号

▼陳情書の扱いが議員配布の場合は、その理由を記して返信することを求める陳情書

〈議員配付〉

第7-6号

▼市の総合福祉センター保全改修工事計画の見直しを求める陳情書

〈議員配付〉

第7-7号

▼自転車通行空間の整備に対する陳情

〈議員配付〉

第7-8号

▼「印西市自転車の安全・安心利用に関する条例」改定促進の陳情

〈議員配付〉

問 水泳授業とプールの在り方は

答 整備方針を定めていきたい

海老原 作一 議員



質問1 児童・生徒の水泳の技能習得の民間委託について。

教育長 水泳指導を専門とする指導者が習熟度別の能力に応じた指導ができる。

再質問 4校の故障しているプールの機械設備の修繕は。

教育部長 修繕の予定はない。

再質問 今後のプール整備方針はどうか。

答弁 小中学校教職員にアンケートを実施し、課題把握に努め、他自治体における情報を収集し、市としての整備方針を定めていきたい。

質問2 町内会・自治会運営

再質問 SNSやアプリを活用した「回覧物の周知」「会員間での情報共有」をはじめ、「市に対する補助金等の申請」などと認識している。

再質問 デジタルツールを導入する町内会・自治会に対する補助金を加算してはどうか。

答弁 現行の町内会等活動補助金の増額も選択肢の一つとなりうる。



築60年以上のプール

問 スポーツリーダーバンクの設置は

答 状況を確認し導入設置を検討する

松谷 知美 議員



質問 指導者不足に関する市民からの相談の件数や記録・保存状況について伺う。

健康子ども部長 指導者不足を含めたスポーツに関する相談はこれまでもないが、随時受け付けている。今後は相談を受けた際に記録簿を作成・保存し、課内で情報を共有したい。

再質問 相談受付時の確認項目を標準化すべきではないか。

答弁 相談受付時、種目や年齢層等、確認する項目をあらかじめ設定し、記録・蓄積を行いたいと考えている。

再質問 市が主体となり、スポーツ団体の成功事例の共有会等、団体間の連携促進をすすめる考えはないか。

答弁 指導者不足など、スポーツ団体の成功事例を団体間で共有できるように進めていきたい。

再質問 次期スポーツ推進基本計画の策定に向けた調査において、指導者不足に関する項目は検討されているか。

答弁 令和7年度の調査で指導者不足も項目に加え実施していきたい。

再質問 近隣市では、指導者を登録・紹介するスポーツリーダーバンク制度が機能している。設置に向けた見解は。

答弁 「生涯学習ガイド」をさらに周知することを含めて、スポーツリーダーバンク制度について導入設置を検討していく。



空手の指導をしている様子

問 要保護児童について

答 福祉的支援を要する児童のこと

都築 真理子議員



質問1 要保護児童対策協議会の現状について伺う。

市長 児童福祉法第25条の2第1項に規定され、印西市では「印西市子ども虐待防止対策協議会」を設置している。

再質問 協議会の運用状況や、各関係機関との情報共有が実際にどのように支援に反映されているのか。

健康子ども部長 令和6年度は、関係機関等の代表者が協議する協議会を1回、実務担当者が支援の経過報告や状況把握などについて協議する実務者会議を4回、具体的な支援



子どもも親も安心できるまちへ

内容を検討する個別支援会議を18回、進捗管理などを行う進行管理会議を8回開催した。

再質問 会議の開催頻度はどのくらいか。

答弁 実務者会議については3か月に1回、進行管理会議は実務者会議の開催がない月に1回、個別支援会議は個別事案の検討が必要であるときに随時開催している。

再質問 会議を通じて実際にどのような成果があったのか。

答弁 要保護児童等の早期発見や迅速な支援の開始、適切な連携によるより良い支援などを行うことができた。

再質問 課題について伺う。

答弁 協議会では、関係機関、関係団体と連携や協力体制の構築がされており、対象児童等への支援を行う基盤となっている。今後も引き続き連携や協力体制の強化をしていく。

問 香害から市民を守る周知を

答 各医療機関に対し慎重に進める

山田 喜代子議員



質問1 香料等により誰もが化学物質過敏症を発生する可能性があることを周知するため、消費者庁等が作成したポスターを公共施設へ掲示する考えはないか。

健康子ども部長 情報の普及に効果があると考えるので、各公共施設へ依頼していく。

再質問 ポスター掲示は自分の体調不良の原因の一つではないかと気付きをもちたらずと思われる。全ての医療機関への掲示の働きかけをして欲しい。考えはどうか。

答弁 各医療機関の意向を尊重



5省庁作成の、香り製品の使用に周囲への配慮を呼びかけるポスター

重しつつ慎重に進めたいと考えている。

質問2 会計年度任用職員の処遇改善について（学校図書司書の場合）司書の役割をどう認識しているか。

教育長 学校図書館主任の職務の補佐をすることを業務としている。

再質問 18の小学校、9の中学校で司書は17名。一人1日6時間の勤務だ。全校に一人ずつ配置をする場合、時給1490円とすると年間の人件費は約5300万円で可能だ。正規雇用も視野に入れ検討を進める考えは。

答弁 考えはないが勤務形態について個々の事情に配慮して改善を図っていく。

質問3 公共交通の充実を。

市長 公共交通計画を踏まえ更に踏み込んで具体的な手段を検討する。

問 温水プール存続可能性と市の方針**答** 存続利用は難しく基本方針はない

鈴木 博美議員

質問1 温水プールは多くの

市民が望み「生涯スポーツ環境の整備」との市長公約にも合致する施設と考えるが、存続可能性と市の基本方針は。

健康子ども部長 老朽化、熱源設備の設置など大規模修繕が必要となり存続利用は難しい。基本的な方針はない。**再質問** 官民連携を含めた代替策の検討は。**答弁** 現在、市内民間プール活用、プールの開放事業がある。より多くの方が民間プールを利用できるように、関係部署と連携を図っていく。

温水プールで泳ぐ人々の健康増進に

質問2 学校給食の満足度や

残菜率の把握状況は。

教育部長 栄養士が給食時に感想を聞く等で把握。中央給食センター等の感想シートでは8割が「好き」と回答。残菜率は小中学校全体で過去3年間11・3%と横ばい状況。**再質問** 児童から給食が少ないとの声があるが、感想シートの全所的な実施の考えは。**答弁** 今後、実施を検討する。**質問3** 市長公約ロードマップの買い物支援には、遅くとも令和9年度にモデル事業実施とある。前倒しの可能性は。**福祉部長** 支援は一つに絞らず福祉の活動団体やボランティア等も想定し、整次次第順次展開するイメージである。**再質問** 市民に対し、検討状況を丁寧伝える考えは。**答弁** 実現可能な施策を実施する際には、随時、周知する。**問** 吉田区に市営プールを造れないか**答** 環境整備事業組合と協議が必要

増田 葉子議員

質問 小中学校のプールはこ

れまで一度も改修されたことがなく、27校中26校で「いつ壊れてもおかしくない」状態になっている。すでに4校は使用できなくなり、民間プールで水泳学習が行われている。今後、学校プールをどうしていくのか。

教育部長 指導面、職員の負担軽減を考慮して検討する。**再質問** 全プールの改修が現実的かという検討になると感じるが、このままだと使用できないプールが増え続ける。既存の民間プールで対応しき

れなくなるのではないか。

答弁 収容能力が不足する可能性がある。**再質問** 吉田区に整備が進んでいる次期クリーンセンターの地域振興施設用地内に市営プールを造れないか。計画されていた地域振興施設は、建築資材等の高騰で大幅に縮小され、水着で入れる施設がなくなった。市営プールは学校利用を優先し、健康維持やスポーツを楽しむ市民にも活用してもらおう。市営プールができるまでの間、印西温水センターを継続してはどうか。**健康子ども部長** 印西温水センターが市民生活に大切な役割を果たしていることは認識している。吉田区に市営屋内プールを建設するには、市の計画上の検討、用地や熱源の確保等、環境整備事業組合との協議が必要となる。

令和9年9月末で閉鎖が決まっている印西温水センター

問 市役所不祥事の再発防止について

答 報告ルールを新設し全庁で改善へ

加藤 亮二議員



質問 過去13か月で23件もの不祥事が発生し、市民生活や信頼を大きく損なっている。単なる「報告書一枚」で済ませるのではなく、原因究明と再発防止を「仕組み」として徹底すべきだ。形式的な処理ではなく、全庁で自分事として共有し、市民の信頼を回復する姿勢が必要ではないか。

総務部長 令和7年8月に「事務上のミスや事故の発生時における報告ルール」を策定し、運用を開始した。報告体制を明確にし、再発防止策の迅速な立案・実施、組織全

体の対応力を強化する。継続的な対策を講じ、必要に応じ改善を図っていく。

再質問 ルール整備だけでなく、原因分析や改善策を、形式的でなく全庁で学び合う組織文化をつくりだすことが重要だ。また、組織としてミスをしない「仕組み」づくりこそが、再発防止に実効性をもたらすものと考えているが、市長は再発の防止に向けた組織改善の具体的な方針やビジョンをどのように描いているのか。

市長 市長としての責任は極めて重いと認識している。報告ルールの徹底に加え、業務プロセスの見直しやDX推進により、ミスを生じさせない仕組みを構築し、組織横断的な連携や職員教育の体系整備等を進め、市民に信頼される行政運営を実現していく。

問 学校外教育支援の充実について

答 課題等を調査していく

林 勝利議員



質問 既存の子どもの学習支援事業や、アフタースクールと組み合わせた包括的な教育支援体制の構築について伺う。

健康子ども部長 アフタースクールについては、希望する児童へ多様な体験・活動の機会を提供できるよう準備を進めており、対象者には、子どもの学習支援事業の対象児童も含むものである。

再質問 経済的な理由で学びの希望を諦めざるを得ない子どもを支えるためにも、バウチャー制度のような支援が必要だと考えるが市の考えを伺う。

答弁 子どもや保護者が選択できる仕組みについては有効な方策の一つであると考えているが、財源確保をはじめ整理すべき課題も多く調査研究を進めている。引き続き本市にふさわしい支援の在り方について検討していきたい。

再質問 具体的にいつまでにどの部局でどの段階まで検討を進めるのか。

答弁 子育て支援課を中心に関係部局と連携し、国や他市の取り組み状況、効果、課題等を調査していく。「市長公約実現に向けたロードマップ」にも記載しているとおり、令和8年度中に導入の可否や制度設計の方向性について整理し、令和9年度には検討結果を踏まえて必要に応じた制度改正や予算措置等を行い、事業化の可否を含めた具体的な対応を図っていく。



安心と信頼を高める
組織的仕組みづくりを



子どもの学習意欲

問 本庁舎移転配置は対応急ぐべき**答** 早期に体制を整え検討を進める

松尾 榮子議員

**質問** 庁舎の更新問題について、現在の検討状況は。**企画財政部長** 「保全改修」「分散配置」「移転新設」の3選択肢について検討しているが結論には至っていない。**再質問** 今後の課題をどう捉えているか。**答弁** 印西市公共施設長寿命化計画で、築60年で保全改修を行う必要が示されている。令和13年度から17年度に保全改修を見込んでおり、それまでには庁舎の在り方や将来的な配置の方向性を示さねばならないと考えている。

築50年で傷みが見え始めた市役所本庁舎

再質問 保全改修工事までの方針を定めるのは遅い。本庁舎は令和8年度で築50年。

次の保全改修は、建築工学的に見た標準的耐用年数の60年をはるかに超え、耐用限度いっっぱいの80年間使用することが前提だ。大規模災害が続く中、市民や職員の安全性は大丈夫か。近隣各市でも築50年前後で次々と庁舎建替えを進めている。印西市でも高齢化率が43・1%となり、財政状況も厳しくなる30年後まで、老朽化した現庁舎を使い、庁舎建替えの宿題を残していくのか。安心・安全なまちづくりの拠点となる本庁の移転配置は、至急検討し進めていくべきではないか。

市長 本庁舎の在り方を検討し必要な対応を行うことは重要だ。早期に検討体制を整え、より本質的な議論を進める。**問** 温水センター閉鎖後のプールは**答** 民間プールとの連携等考えたい

板橋 睦議員

**質問** 現クリーンセンターの温水センター閉鎖に伴い、市民プールの建設の考えは。**環境経済部長** 新クリーンセンターの地域振興施設的设计デザインは、「入浴余暇機能を核とした多機能複合施設」であり、現時点では、プールを建設する構想はない。**再質問** 温水センターの建設費用はいくらであったか。**答弁** 平成5年に完成した際、用地費が約7億8548万5千円で、建設費が調査設計等事務費を含め、約24億2812万7千円で、合計で約32億

現クリーンセンターに併設されている印西温水センター

1361万2千円である。

再質問 温水センターの令和6年度の市町別の利用状況は。**健康子ども部長** 自治体別に印西市が12万5143人、白井市が3万2543人、栄町が5337人、3市町以外では2万5428人、合計が18万8451人である。**再質問** 温水センターの閉鎖について、利用者や市民からの声はあるのか。**答弁** 印西市水泳協会から印西地区環境整備事業組合に印西温水センターの存続に関する要望が提出されている。また、市スポーツ振興課にも存続を希望する声が届いている。**再質問** 印西市のプールの基本方針を定める考えがあるか。**答弁** 市民がプールにアクセスしやすい環境づくりに向け、民間プールとの連携を含め、対応を検討・整理し考えたい。

問 市のホームページを更新すべきだ

答 令和8年度に予定している

軍司 俊紀議員



質問1 行政支援情報の提供

について伺う。市のホームページでの支援制度情報の構成と導線について、現状の課題をどのように認識しているか。

市長 現状では、各種支援制度が分野別に掲載されているが、利用者からは「情報が散在していて探しづらい」との声も寄せられている。特に、支援対象者が複数の制度に該当する場合、情報の横断的な

把握が難しいことから、市では利用者目線での導線設計や情報整理が不十分であると認識している。

質問2 市民が必要な支援情報に迅速かつ容易にアクセスできるよう、支援制度を一元化した専用ページの新設や既存ページの再構成を検討すべきではないか。

市長 令和8年度に市公式ホームページのリニューアルを予定している。

再質問 私と同じ問題意識を持っていると考える。スケジュールはどうなるのか。

総務部長 令和7年度中にアンケートによる市民ニーズの把握を行い、令和8年4月から6月にかけて事業者を選定し、契約を行い、令和9年3月までに新しいホームページの公開と運用開始ができるよう進めていく。

問 道路インフラ整備計画について

答 計画的な修繕工事を実施している

大野 忠寄議員



質問1 市道師戸・江川線のアスファルト打ち替え工事について伺う。

都市建設部長 市道師戸・江川線の舗装修繕工事はすでに工事請負契約を締結し、工事の実施に向け事前準備を進めている。工事内容は約485メートルの区間の舗装の打ち替えて、工期は令和8年1月20日までを予定している。

再質問 当初予算の工事延長は約800メートルを予定していたが、なぜ短くなったのか伺う。

答弁 当初予算では、舗装の

打ち替えのみを計画していたが、現地調査において道路路肩部などの補強の必要が判明したことから、予算の範囲内で設計を見直した結果である。

再質問 当初計画の残り約315メートルの打ち替え工事について伺う。

答弁 引き続き令和8年度の実施に向けて予算要望を行う。

質問2 市道師戸・江川線拡幅工事の予備設計の進捗は。

都市建設部長 予備設計について令和7年7月に業務委託契約を締結し、現地条件や道路構造法令を考慮し、最適な道路の規格および線形について、設計を進めている。

再質問 令和8年度以降の予定について伺う。

答弁 今後は、現地測量、用地測量、交差点予備設計、用地買収、道路詳細設計を行い、工事に着手する。



改善が求められている印西市のホームページ

各常任委員会の審査

印西市議会では、全ての議案を委員会に付託し審査することを原則としています。
各委員会に付託された議案と審査内容の一部を要約して掲載します。

文教福祉常任委員会

福祉部・健康子ども部・教育委員会を所管

印西中学校屋内運動場保全改修へ

【議案第8号 工事請負契約の締結】

【内容】印西中学校屋内運動場保全改修工事3億910万円で竹内建設株式会社と締結。

問

落札業者は、県で営業停止の期間だが市が審査で特別に注意した点は。

答

他の工事の受注状況や、経営状況など聞き取りを行い、順調であることを当該事業者から確認している。取引金融機関と東日本建設業保証株式会社にも確認を行い、経営的に支障はないということであった。

【議案第1号 印西市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定】

【内容】乳児等通園支援事業の整備及び運営に関する基準を定める。

問

乳児等通園支援事業と一時預かり事業の違いは。

答

一時預かり事業は、保護者側の理由で利用するのに対して、乳児等通園支援事業は、子どもの育ちを応援する考え方から成り立つものと考えている。

【議案第9号 事業契約の変更】



改修前の印西中学校の体育館

【内容】（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業における新施設建設及び旧1号館改修に係る割賦支払い分の金利確定と、旧2号館解体工事に係るアスベスト撤去費用追加に伴う事業費の増額。

問

割賦支払分の確定金利は。

答

利率が1・939%になり、金利確定による増分が約4千28万円。

問

PFI事業契約を見直すことを印西市から提案できないのか。またその場合、何かペナルティはあるのか。

答

当初契約した時点で現在の物価高騰が生じるかは不明瞭で、一律に市がリスクを負っているとはいえないと考える。



審査結果	番 号	件 名	結 果
	議案第1号	印西市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決
	議案第8号	工事請負契約の締結（印西中学校屋内運動場保全改修工事）	可決
	議案第9号	事業契約の変更（（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業）	可決
	請願第7-2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択すべきもの
	請願第7-3号	「国における2026年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択すべきもの

総務企画常任委員会

総務部・企画財政部・市民部・会計課・選挙管理委員会・監査委員を所管



養育環境の改善で仕事と育児の両立

仕事と育児の両立
支援制度

【議案第2号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】仕事と育児の両立支援制度等の周知、意向確認等について規定するもの。

問 条例を改正するに至った経緯は。人事院規則の一部および育児・

答 介護休業法の一部が改

正され、令和7年10月1日から施行されるこ

とから、条例改正を行う。内容は出産や育児

に関する休業等の支援制度の利用が円滑に行われることを目的としている。この内容を該

当者に対して個別に知らせ、また、制度利用の意向確認をする規定。

問 3歳未満の子を養育する職員に

対していつまでに周知し、意向を確認するのか。

答 養育する職員の子の年齢が1歳

11か月には達する翌々日から、2歳11か月に達する日の翌日までの1年間である。

番号	件名	結果
議案第2号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決

建設経済常任委員会

環境経済部・都市建設部・上下水道部・農業委員会を所管



本融資制度の千葉県信用保証協会が入っているビル

印西市中小企業資金
融資制度の廃止

【議案第3号 印西市中小企業資金融資条例を廃止する条例の制定】

問 本制度を廃止することによって、当市は新たな支援策は考えているか。

答 当市の中小企業に対しては国や県の制度を丁寧に案内するとともに、今後は市独自の起業スクールなどを通じて新たな支援を検討していく。

問 条例の施行が令和8年4月1日となつていますが、施行日の時期の設定理由は。

答 市内事業者や関係者に本制度の内容説明と周知期間を確保するため。また令和7年度の予算について、新規見込みを予算措置しているため。

市内事業者や関係者に本制度の内容説明と周知期間を確保するため。また令和7年度の予算について、新規見込みを予算措置しているため。

番号	件名	結果
議案第3号	印西市中小企業資金融資条例を廃止する条例の制定	可決

令和7年第3回定例会 議案と審議結果一覧

全会一致議案一覧

番 号	件 名	番 号	件 名
《 議 案 》 （市長提出）		《 議 案 》 （議員提出・委員会提出）	
議案第2号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること（中嶋 加奈江氏）
議案第4号	令和7年度印西市一般会計補正予算（第3号）	諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること（圓尾 優紀氏）
議案第5号	令和7年度印西市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	発議案第1号	駅周辺地域でのデータセンター建設に関する決議
議案第6号	令和7年度印西市介護保険特別会計補正予算（第1号）	発委案第4号	印西市議会基本条例の制定
議案第7号	令和7年度印西市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	発委案第5号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出
議案第8号	工事請負契約の締結（印西中学校屋内運動場保全改修工事）	発委案第6号	国における2026年度教育予算拡充に関する意見書の提出
認定第5号	令和6年度印西市水道事業会計決算認定	《 請 願 》	
認定第6号	令和6年度印西市下水道事業会計の剰余金処分及び決算認定	請願第7-2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書
同意第1号	印西市教育委員会の教育長の任命につき同意を求めること（渡邊 義規氏）	請願第7-3号	「国における2026年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書
同意第2号	印西市教育委員会の委員の任命につき同意を求めること（増田 洋子氏）		

番 号	件 名	議 決 結 果	大 崎 亜 希	大 野 忠 寄	加 藤 亮 二	鈴 木 博 美	津 田 憲 吾	都 築 真 理 子	林 勝 利	松 谷 知 美	稲 葉 健	小 川 利 彦	米 井 重 行	岩 崎 成 子	海 老 原 作 一	増 田 葉 子	松 尾 榮 子	軍 司 俊 紀	金 丸 和 史	板 橋 睦	山 田 喜 代 子	藤 江 研 一	近 藤 瑞 枝	
《 議 案 》 （ 市 長 提 出 ）																								
議案第 1 号	印西市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	
議案第 3 号	印西市中小企業資金融資条例を廃止する条例の制定	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	
議案第 9 号	事業契約の変更（（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業）	原案可決	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	○	—	
認定第 1 号	令和 6 年度印西市一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	
認定第 2 号	令和 6 年度印西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	
認定第 3 号	令和 6 年度印西市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	
認定第 4 号	令和 6 年度印西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	
同意第 3 号	印西市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めること（坂巻 栄一氏）	同意	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—	

※○＝賛成、×＝反対、退＝退席、欠＝欠席、—＝その他

※議長（近藤瑞枝）は採決に加わりません。

駅周辺地域でのデータセンター建設に関する決議について

印西市議会としての意思を対外的に表明するため、印西市議会会議規則第14条第1項の規定により、議案が提出され、全会一致で可決されました。

以下、決議文です。

駅周辺地域でのデータセンター建設に関する決議

現在、千葉ニュータウン中央駅のあるタウンセンター地区内にデータセンターが建設される可能性が高まっている。市のタウンセンター地区地区計画では、「にぎわい、楽しさ、出会いのある都市空間を形成すると共に、商業、業務、文化施設等の誘導、良好な都市景観の創造、多様性に富んだ魅力的な市街地の形成を図る」とされている地区であり、市民生活の核となる地区であると考えます。

データセンターは「印西市」の名声を世界に知らしめ、市民の福祉を向上させていく上で欠かせない存在として高く評価しており、データセンターと地域社会が共生するためには、市民が納得できる都市計画の下に、各種法令や適正な手続きに従い整備されるべきである。

タウンセンター地区や印西牧の原駅前センター地区等の駅周辺の地区においては、市民生活の拠点として良好な環境を保持するとともに、本市の玄関口としてよりよい景観を創造する必要があることから、今後、データセンターの建設については、駅周辺を除いた場所に整備されることを求める。

以上、決議する。

令和7年8月29日

印西市議会



原小学校の特別支援学級の児童と木下小学校の4年生が芋掘りを体験しました。収穫時期になった芋を手で一生懸命掘り起こし、たくさんの芋を収穫しました。芋づるで一回で何本も収穫できた児童もいました。大きい芋は、複数人で協力し合いながら一緒に掘っている姿も見られ、みんなでたくさん芋を収穫でき、大満足の様子でした。収穫した芋を自宅に持ち帰っておいしく食べられたでしょう。



表紙の写真

印西市議会基本条例制定特別委員会報告

印西市議会基本条例制定特別委員会（以下「委員会」という。）は、令和5年第3回定例会最終日（令和5年9月29日）の本会議において設置され、以後30回近くもの委員会を開催してまいりました。

同年12月18日には中央大学法学部教授の礒崎初仁先生を講師としてお招きし、「議会基本条例制定に向けて」と題して、全議員による研修会を開催いたしました。なお、礒崎先生には、基本条例案策定の最終段階まで貴重なアドバイスをいただきました。

令和7年に入り、4月には基本条例の内容をなるべくわかりやすくするため、逐条解説を作成し、印西市議会としては初めて市民意見公募手続（パブリックコメント）の実施について委員会で決定し、全員協議会で報告した後、7月14日から7月28日まで市民意見公募手続（パブリックコメント）を実施しました。

パブリックコメントのご意見は3件で、ホームページにて報告させていただいております。

なお、条例案については、礒崎先生に確認作業とご意見をお願いし、8月22日に最終的な内容を特別委員会にて決定し、全員協議会で最終案について説明後、令和7年第3回定例会最終日に議案として上程することを正式に決定いたしました。

令和7年9月29日の本会議において、委員会の活動報告および本特別委員会が条例案を発議いたしました。また、同日、本会議において「印西市議会基本条例案」は全会一致で可決・成立。その後、「制定特別委員会」を閉じることを決定いたしております。

最後に、2年の期間を通して、特別委員各位の真摯な議論と活動に敬意を表するとともに、議員各位のご理解、並びに議会事務局のご協力に対して心からの感謝を申し上げます。

印西市議会基本条例制定特別委員会

設置期間 令和5年9月29日から令和7年9月29日まで

委員長	金丸 和史	委員	増田 葉子
副委員長	大野 忠寄	〃	稲葉 健
委員	藤江 研一	〃	加藤 亮二
〃	松尾 榮子	〃	大崎 亜希



詳しくはこちら

印西市議会基本条例制定特別委員会活動内容

年	月 日	議 題
令和5年	9月29日	※議会運営委員会設置発委案 特別委員会の設置
	9月29日	正副委員長の互選について
	10月24日	基本条例制定に係る研修会の開催について 条例（案）作成までの進め方について
	11月20日	条例（案）作成までの進め方について 印西市議会基本条例骨子（案）について
	12月18日	閉会中の継続審査申出書について
	12月18日	議員研修「議会基本条例制定に向けて」 講師：中央大学法学部礪崎初仁教授 ①議会基本条例とは ②議会基本条例の必要性 ③条例の基本的な構成内容 ④制定までの流れ
令和6年	1月15日	議会基本条例骨子（案）の選定について
	3月11日	策定スケジュールの変更について 条例（案）について 閉会中の継続審査申出書について
	4月12日	骨子（案）の調整について
	4月26日	印西市議会基本条例の条文作成について
	5月31日	印西市議会基本条例の条文作成について
	6月13日	印西市議会基本条例の条文作成について
	6月20日	閉会中の継続審査申出書について
	7月24日	印西市議会基本条例の条文作成について
	8月7日	印西市議会基本条例の条文作成について
	8月21日	印西市議会基本条例の条文作成について
	9月18日	印西市議会基本条例の条文作成について
	10月16日	印西市議会基本条例の条文作成について
	12月19日	印西市議会基本条例の条文作成について
令和7年	1月9日	礪崎先生へご挨拶（議長・正副委員長）
	1月23日	印西市議会基本条例の条文作成について
	2月5日	礪崎先生による確認・意見（条文（案）について）
	3月17日	閉会中の継続審査申出書について
	4月10日	印西市議会基本条例の条文作成について 印西市議会基本条例逐条解説の作成について
	6月10日	印西市議会基本条例逐条解説の作成について
	6月23日	市民意見公募手続（パブリックコメント）の実施について
	6月30日	礪崎先生による確認・意見（条文（案）について・逐条解説について）
	7月14日	市民意見公募手続（パブリックコメント）の実施（7月14日～7月28日）
	8月22日	市民意見公募手続（パブリックコメント）の結果について 条例（案）の修正について 条例の上程について

編集後記

第3回定例会では、令和6年度決算審査および、補正予算、各種議案について審議が行われ、議決されました。

一般質問では身近な問題や将来的な市政への課題に対し議論が展開されました。

議会だよりは市民の皆様親しんでいただけるように、編集委員がアイデアを出し合い、見やすく、判りやすい紙面となるよう、一つ一つ丁寧に作成しています。今後も市民の皆様のご意見を参考に編集を行ってまいります。

（大野）



委員長	藤江 研一
副委員長	林 勝利
委員	大野 忠寄
	鈴木 博美
	津田 憲吾
	増田 葉子

住みやすい印西市

印旛明誠高等学校

1年 内山 椋うちやま こうろう

私は小学校五年生の時、印西市に引っ越してきました。

「何もかもがとても整えられている街だな。」というのが第一印象でした。近所には同じ世代の子が多く、楽しく交流ができました。親御さんも穏やかで優しい方が多く、「印西市民になって良かった。」と強く思いました。市内でほとんどの生活がまかなえるという点も印西市の大きな魅力だと感じます。ビッ

グホップや牧の原モアなどの大型ショッピングモールは品揃えが豊富で、長時間過ごせます。

西の原中学校はマンモス校でしたが、優しい人が多く毎日を楽しく過ごすことができました。目標に向かって努力できる人も多く、励みになりました。勉強と部活動の両立を目指す人もたくさんいました。素晴らしい環境でたいへん充実した生活を送ることができました。

高校進学にあたり、迷わず市内にある印旛明誠高等学校を選択しました。整えられた環境の中、少人数制の授業が展開され、充実した毎日を過ごしています。全校生徒に「いんざい議会だより」が配付されるので、印西市の様子を知れることもできます。住みやすい印西市で人として成長したいと思います。

令和7年 第4回定例会 会期予定および日程

令和7年第4回定例会は、11月28日(金)から12月18日(木)までの会期予定です。

最新の日程は、ホームページでご確認ください。

なお、インターネットによる本会議のライブ中継及び委員会の録画中継を配信しておりますので、ご利用ください。

詳細については、議会事務局までお問合せください。

【印西市議会事務局】
☎0476(33)4614



いんざい君© 2011 Inzai City

日	月	火	水	木	金	土
11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21 議会運営委員会	11/22
11/23 勤労感謝の日	11/24 振替休日	11/25	11/26	11/27	11/28 本会議 (議案上程)	11/29
11/30	12/1 本会議 (個人質問)	12/2 本会議 (個人質問)	12/3 本会議 (個人質問)	12/4 本会議 (個人質問)	12/5 本会議 (個人質問)	12/6
12/7	12/8 予算審査 常任委員会	12/9 総務企画 常任委員会	12/10 文教福祉 常任委員会	12/11 建設経済 常任委員会	12/12	12/13
12/14	12/15	12/16	12/17 議会運営 委員会	12/18 本会議 (議案の採決)	12/19	12/20